

# 鶴見川流域水マスタープラン推進宣言

鶴見川流域においては、

- 水循環系の健全化を視点とする流域再生を理念とし、
- 今後20～30年後を目標として、
- 鶴見川流域の水循環系の諸課題
  - ◆ 洪水時の安全度向上（洪水時水マネジメント）
  - ◆ 平常時の水環境の改善（平常時水マネジメント）
  - ◆ 流域の自然環境の保全・回復（自然環境マネジメント）
  - ◆ 震災・火災時の安全支援（震災・火災時マネジメント）
  - ◆ 流域意識を啓発する水辺ふれあいの促進（水辺ふれあいマネジメント）を総合的にマネジメントすることによってその解決を目指すとともに、
- 「鶴見川流域水協議会」「鶴見川流域水委員会」「鶴見川流域水懇談会」等核となる推進体制を確立し、
- 流域の市民、市民団体、企業、行政が連携・協働の取り組みと適切な役割分担のもとに一体となって、流域の自然環境と人間の諸活動が共存する持続可能な流域社会の実現を図る鶴見川流域水マスタープランを推進する。

今日この日から、宣言の具体化に向けた取り組みを開始する。

平成 年 月 日

国土交通省  
関東地方整備局長

---

東京都知事

---

神奈川県知事

---

横浜市長

---

川崎市長

---

町田市長

---